

次期学習指導要領 1枚まとめ｜高校

特別活動 高校

子供が学級・学校をよりよく創る「社会創造」の活動へ

10秒でいうと

ホームルーム活動（小中は学級活動）を「学級経営の要」に。キャリア・パスポート例示資料は廃止

高校でも、生徒が身近な社会をよりよく創る「社会創造」の視点で特別活動を見直す方向です。ホームルーム活動は「学級経営の要」として、生徒指導の土台の役割もはっきりさせます。生徒会活動には学校運営への「意見表明」を書き込む案です。「合意形成」と「意思決定」の意味も整理されました。キャリア・パスポートは、国の例示資料を廃止する方向で見直されます。

1 ホームルーム活動は「学級経営の要」

ホームルーム活動を、よい人間関係や心理的安全性をつくる「学級経営の要」と明確にする方向です。特別活動、とくにホームルーム活動は、全ての生徒を対象にした生徒指導の中心的な場とされています。一人一人の個性や背景を尊重することも重視されます。P349 P350

授業では たとえば年度初めのホームルームで、発言しやすい話し合いのルールを生徒と一緒に作ることが考えられます。

2 生徒会が学校運営に意見を出す

生徒会活動は、校則など学校のルールづくりをはじめ、学校運営に生徒が関わる仕組みだと明示する方向です。生徒が提案し、先生との話し合いで学校運営に関わる「意見表明」の記載を設ける案です。学校運営協議会への参画なども関連し得るとされています。P355

授業では たとえば生徒会が学校生活の改善案をまとめ、管理職や学校運営協議会に説明する機会をつくることが考えられます。

3 「合意形成」と「意思決定」を整理

合意形成は、違う意見や背景を認め合い、対立と向き合いながら「納得解」をつくることとされました。納得解とは、みんなが受け入れられる答えです。意思決定は、自分の価値観に照らし、責任をもって行動を選ぶことです。進め方の流れも参考として示す方向です。P360

授業では たとえば文化祭の出し物決めで、すぐ多数決にせず、意見を広げてから比べて絞る時間をとることが考えられます。

4 キャリア・パスポートの見直し

キャリア・パスポートは、国の例示資料にそったワークシート作りが目的化しているとの指摘があります。そこで例示資料を廃止し、見通しと振り返りのための多様な取組に変える方向です。記録はクラウドなどで個人が管理し、学校による引継ぎは求めない方向です。P359

授業では たとえば学期の始めと終わりに、自分の目標と振り返りを端末のフォルダに短く書きためる形が考えられます。

ほかにも変わること（高校）

- 学級活動（ホームルーム活動）の項目名と内容を整理し直す P353 P354
- 学級活動を「学級経営の要」、生徒指導・特別支援の「要」と明確化 P349 P350 P95
- 評価を「学びに向かう力」の個人内評価とし、過度な評価材料集めを抑える案 P361 P346
- 児童会・生徒会活動に「学校運営への意見表明」を書き込む P355 P363 P364
- 学校行事は「子供たちが創造する活動」に。文化的行事は「文化・学習発表的行事（仮称）」へ P356 P357
- キャリア教育の役割分担と「キャリア・パスポート」の見直し P358 P359 P95
- 「合意形成」「意思決定」の意味と進め方を示す P345 P359 P360
- 三つの視点と用語の見直し（「社会創造」「主体的」など） P351 P352

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/｜2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。